

◆中学生の部

啓発ポスターの意味を理解し、画面構成や色調など、よく練られた作品が多く感心しました。子どもらしいイラスト表現、簡潔に抽象化した形と色、擬人化等、多岐にわたっており、表現の幅の広さを嬉しく思います。ただ少数ですが、呼びかけの言葉がなかったり、場面状況を詳しく説明し過ぎたりして、ポスターとしてのインパクトの弱さにつながってしまっている例は残念に思いました。形と色も含めての画面構成の整理が、より効果を生むと思います。また、来年は小学生からの応募も増えることを期待しています。



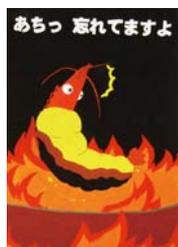
■ 一 席 藤 原 拓 己 (能代市立能代第一中学校 1年)

火事の恐ろしさがストレートに伝わってくる訴求力ある作品です。なまはげを上回るど迫力の目と口、鋭い爪で画面が覆われ、火事の破壊力の大きさを感じます。キャッチコピーと画面構成がマッチし、シンプルに形と色を限定したことで、見る人に迫ってきます。



■ 二 席 伊 藤 颯 希 (能代市立能代第二中学校 2年)

擬人化した火の形が工夫され、コンセントと配線の妙も気がきいています。背景もきちんと丁寧に描きながら整理されており、巧みな作品です。絵の具の技法も効果的です。火の着色にもう少し変化があるとよかったかもしれません。



■ 二 席 宮 原 理 名 (横手市立十文字中学校 2年)

「あちっ 忘れてますよ」短いコピー。そしてエビが主人公になっている画面はどこかユーモラスですが、防火意識を高め、注意を喚起する魅力ある作品に仕上がっています。黒を背景に赤、橙、黄と色彩がとても美しく、すっきりとまとまりました。



■ 三 席 三 浦 紗 樹 (秋田市立秋田西中学校 1年)

家の形の中に火災につながる原因のコンセントを大きく配置したことや青い屋根、茶色のドアの中の火の色が効果的にいきています。またそれぞれ擬人化した表情や手の表現がうまくいきました。



■ 三 席 原 田 滯 (横手市立十文字中学校 1年)

コンセントのみのパーツだけで、しっかりと動きのある画面構成が工夫されています。画面の中に空間感が感じられ、立体感とリズムが生まれています。また色彩も黄色と橙のグラデーションを取り入れ、色調をうまくまとめました。



■ 三 席 中 田 心 (能代市立能代第一中学校 3年)

ストーブの上のタオル、干し物、アイロン、鍋、コンセント等、火事の誘因となる要素を沢山丁寧に盛り込んでいます。また画面中央の二人の人物や背景の火、手の表情も工夫され、心のこもった作品に仕上がりました。色はしびい感じもしますが、魅力ある色調です。